

公益財団法人 ソロプチミスト日本財団
令和5年度 事業報告書
(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

〈事業内容〉

1. 支援事業（公益目的事業2）

(1) ソロプチミスト日本財団 女性研究者賞

教育、科学技術、医療技術、環境、IT技術、介護福祉、社会福祉、伝統技術、伝統文化、文学、経済学、健康、平和などさまざまな分野で将来性のある研究をしている優秀な女性を支援し、女性研究者の躍進の機会を与えることを目的とし、研究費を支援する本事業に全国のソロプチミストクラブから18名が推薦された。

当財団の支援・奨励事業選考委員会による選考を経て受賞者1名を決定し、令和5年11月8日に東京国際フォーラムで開催した年次贈呈式において、認定証と支援金500万円の目録ならびに記念品を贈呈した。受賞者名は後記の通り。

なお本支援金については、支援期間満了後に当財団所定様式の会計報告書(支援期間が1年以上の場合は1年経過時に中間報告)ならびに研究報告書の提出を義務付けている。

2. 奨励事業（公益目的事業1）

(1) ソロプチミスト日本財団 ドリーム賞

女性や将来を担う子どもたちが希望を持てるような社会の構築を願って、自身の活動やその成果によって、女性や子どもたちに夢や勇気を与え、明るい未来を築くことに貢献した人を称える本賞に、全国のソロプチミストクラブから23名が推薦された。

当財団の支援・奨励事業選考委員会による選考を経て受賞者1名を決定し、年次贈呈式において、賞状と記念品を贈呈した。受賞者名は後記の通り。

*受賞者より副賞辞退の申出を受けた

3. 顕彰事業（公益目的事業1）

(1) 千嘉代子賞

永年にわたり継続的に当財団定款の事業に掲げる各分野に該当する活動を行い、その活動において顕著な功績が認められる日本人を表彰する本賞に、全国のソロプチミストクラブから18名が推薦された。

国際ソロプチミストアメリカの日本5リジョンによる選考、当財団の顕彰・援助事業選考委員会による選考を経て、2名の受賞者を決定した。年次贈呈式において賞状と副賞100万円の目録を贈呈した。受賞者名は後記の通り。

(2) 社会ボランティア賞

地域社会のニーズに適合した地域密着型のボランティア活動を継続的に行い、誠実に責任を果たしている個人または団体を顕彰する本賞に、全国のソロプチミストクラブから145件が推薦された。

国際ソロプチミストアメリカの日本5リジョンによる選考、当財団の顕彰・援助事業選考委員会による選考を経て、28件の受賞者を決定した。年次贈呈式において社会ボランティア賞の賞状と副賞20万円の目録を贈呈した。受賞者名は後記の通り。

(3) 学生ボランティア賞

学生ならではの視点で当財団定款の事業に掲げる各分野に該当するボランティア活動を継続的に行い、誠実に責任を果たしている学生、個人または団体を顕彰する本賞に、全国のソロプチミストクラブから43件が推薦された。

国際ソロプチミストアメリカの日本5リジョンによる選考、当財団の顕彰・援助事業選考委員会による選考を経て、8件の受賞者を決定した。年次贈呈式において学生ボランティア賞の賞状と副賞10万円の目録を贈呈した。受賞者名は後記の通り。

4. 援助事業（公益目的事業2）

(1) ソロプチミスト日本財団 活動資金援助

資金困難な状況の中で地域社会のニーズに応えようと努力している団体へ、そのボランティア活動が継続できるよう活動資金を提供する本事業に、全国のソロプチミストクラブから66団体が推薦された。

国際ソロプチミストアメリカの日本5リジョンによる選考、当財団の顕彰・援助事業選考委員会による選考を経て、活動資金を援助する30団体を決定。年次贈呈式において、援助先を推薦したソロプチミストクラブへ援助金30万円の目録を贈呈した。援助先名は後記の通り。

なお本援助金については、令和6年11月15日までに、当財団所定様式の使途報告書提出を義務付けている。

(2) ソロプチミスト日本財団 災害復興援助

被災地における復興のための活動ならびに日本各地における被災者支援のための活動を実施している団体へ、そのボランティア活動が継続できるよう活動資金を提供する本事業に、全国のソロプチミストクラブから6団体が推薦された。

国際ソロプチミストアメリカの日本5リジョンによる選考、当財団の顕彰・援助事業選考委員会による選考を経て、活動資金を援助する3団体を決定。年次贈呈式において、援助先を推薦したソロプチミストクラブへ援助金30万円の目録を贈呈した。援助先名は後記の通り。

なお本援助金については、令和6年11月15日までに、当財団所定様式の使途報告書提出を義務付けている。

5. 選考委員会

(1) 支援・奨励事業選考委員会

下記の通り開催し、各賞の受賞者を決定した。

開催月日： 第1回 令和5年5月30日
第2回 令和5年6月19日（外部委員出席）

委員長 住友 カヲリ 理事

委員 山本 富士子 理事

鈴木 淑子 理事

外部委員 片峰 茂 氏

〔地方独立行政法人長崎市立病院機構 理事長〕

森 正樹 氏

〔東海大学副学長・医学部長〕

(2) 顕彰・援助事業選考委員会

下記の通り開催し、各賞の受賞者ならびに援助金贈呈先を決定した。

開催月日： 令和5年6月30日

委員長 山本 富士子 理事
委員 三島 寿子 常務理事
大島 好恵 常務理事
外部委員 鈴木 晶子 氏
[京都大学名誉教授]
堀井 茂男 氏
[公益財団法人慈主会 慈主病院 理事長]

6. その他事業関連委員会

(1) 年次贈呈式実行委員会

当財団は公益目的事業の一環として年次贈呈式を開催する。下記の通り準備のための委員会を開催した。サポーターズクラブは、SI 東京-東と SI 東京-桜へ依頼した。

開催月日： 第1回 令和5年 3月27日
第2回 令和5年 8月 2日
第3回 令和5年10月 4日

委員長 鈴木 淑子 理事
委員 三島 寿子 常務理事
大貫 成子 評議員
職責委員 千 容子 理事長

<管 理 部 門>

1. 役員会等に関する事項

下記の通り開催し、当財団の事業の執行、運営管理に努めた。

(1) 理事会

開催月日： 第1回 令和5年 2月13日
第2回 令和5年 5月30日
第3回 令和5年11月28日

(2) 評議員会

開催月日： 定 時 令和5年 3月13日

2. 役員等に関する事項

令和5年12月末現在の役職者は以下の通り。

役 職	氏 名	就任年月日	現 職 等
理事長	千 容 子	H28. 3. 9	一般社団法人 茶道裏千家淡交会 理事長
常務理事	三 島 寿 子	R 2. 3. 19	株式会社 MTI 取締役
常務理事	大 島 好 恵	R 2. 3. 19	株式会社 両口屋是清 監査役
理 事	住 友 カヲリ	R 2. 3. 19	ピアノ教室 主宰
理 事	山 本 富士子	R 2. 3. 19	太洋舎商事 株式会社 代表取締役
理 事	鈴 木 淑 子	R 2. 3. 19	大田区 家庭相談員

理事	高田 テル子	R 4. 3. 7	株式会社 高田地研 取締役
理事	陸 登美江	R 4. 3. 7	英語講師
理事	山田 賀世子	R 4. 3. 7	法律事務所 プリウス 相談役
理事	重見 好子	R 4. 3. 7	医療法人 重見循環器科内科 理事
理事	太田 瑞穂子	R 4. 3. 7	医療法人 おおた歯科・小児歯科 理事
監事	毛利 隆志	R 3. 3.16	公認会計士
監事	井上 恭子	R 4. 3. 7	公益社団法人 才能教育研究会 ピアノ科指導者
評議員	篠原 みゆ子	R 2. 3.19	株式会社 篠原食品 代表取締役
評議員	渡辺 史子	R 2. 3.19	湘南菱油 株式会社 役員
評議員	井植 豊子	R 2. 3.19	塩屋土地 株式会社 監査役
評議員	佐々木 民子	R 2. 3.19	宗教法人 前神寺 役員
評議員	綾部 純子	R 2. 3.19	医療法人 誠奈会 理事
評議員	上野 裕子	R 4. 3. 7	有限会社 アイキャン 代表取締役
評議員	大貫 成子	R 4. 3. 7	大貫繊維 株式会社 取締役
評議員	岡野 路子	R 4. 3. 7	株式会社 岡野組 取締役副社長
評議員	小徳 恵子	R 4. 3. 7	医療法人社団 小徳歯科クリニック 理事
評議員	西中 章子	R 4. 3. 7	株式会社 日能研九州 常務取締役
評議員	福島 美登利	R 2. 3.19	株式会社 福島漁業 取締役副社長
評議員	林 敦子	R 2. 3.19	株式会社 林 取締役
評議員	石原 敏枝	R 2. 3.19	石原紀一税理士事務所
評議員	西井 和子	R 2. 3.19	笠岡人権擁護協議会 人権擁護委員
評議員	福田 邦子	R 2. 3.19	学校法人 九州ルーテル学院 理事長

※全員が非常勤です